

6月27日から7月27日にかけて、小学校区ごとにタウンミーティング「加西ふるさとミーティング 2017 夏」を開催しました。地域自治会を担われている皆さまを中心に、延べ370人の参加がありました。

「市民が求める病院、地域に必要な医療とは」をテーマに、意見交換しました。意見・提案と加西病院の回答は市ホームページに掲載しています。

皆さまの意見や提案を可能な限り反映させていきます。



富合地区のタウンミーティング

■意見と加西病院の回答（一部抜粋）

意見	加西病院の回答
なぜ医師の数が減り、病院の収入が減ったのか。	以前は、大学教授の指示で各方面の病院に行っていましたが、10年前ぐらいから、自分の意志で大きな病院に行きたい、都会に住みたい、子を都会の学校へ行かせたいなどと考える医師が多くなり、地方の病院に赴任する医師が減少しています。また、医師が一人減ると、約1億円の収入減となります。内科だけで3年前と比較すると8人医師が減り、約8億円減少しました。
今後の加西病院の方向性を教えてほしい。	現在、加西病院は5病棟あり、その内1病棟は回復期病棟です。今後、回復期病棟を2病棟にして、患者の受け入れを多くし、急性期機能を維持しながら、よりよい方向性を検討していきます。また、入院から退院、在宅治療の中で訪問看護ステーションがあるのは、近隣では加西病院だけで、患者が最後まで自宅で生活できるようサポートしていきます。
外来の待ち時間が長い。改善できないのか。	待ち時間の調査結果より、予約診療では待ち時間は減っていますが、初診では時間がかかります。待ち時間の有効活用として、月に2回「チョイ耳」講座を開催しています。また、看護師による声掛けも行っています。今後、スマートフォン等での呼び出しも検討しています。
加西病院のPRできる分野を教えてください。	消化器内科では、内視鏡手術を365日できる体制にあり、切除可能なものは処置し、外科診療が必要な場合は外科で処置し、大きい病院に行かなくても対応できます。循環器内科では、急性心筋梗塞に対して365日24時間体制で対応可能です。また、眼科、整形外科、産婦人科なども得意分野です。

シニア 加西の産業⑤「製造業の集積を維持・拡大」

問合せ／産業振興課 ☎42-8740 FAX43-1802
sangyo@city.kasai.lg.jp

■新たな工場用地の確保

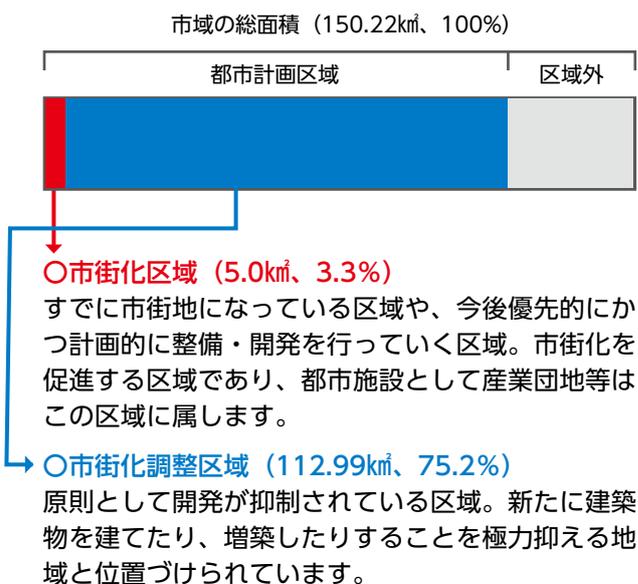
「加西市産業振興計画（平成29年3月）」を策定するにあたり実施した事業所アンケートの結果、行政に求める施策として「工場用地・工場施設への支援」が多く挙げられました。

加西市は、工場の新設や拡張が制限されている「市街化調整区域」の割合が市域面積の75.2%を占め、土地利用の難しい地域が大部分を占めています。また、市街化区域は市域面積の3.3%しかなく、うち0.9%を占める市内4つの産業団地は、全ての区画が満杯で、事業進出・拡張のための工場用地が不足している状況です。

加西市において製造業は、市内総生産の約半数を占める経済や雇用を牽引する産業であり、市経済の活性化のためには、工業用地の確保が喫緊の課題です。

加西市は、製造業の集積を維持・拡大するために、新しい産業団地の造成による市外からの企業誘致に加え、市内に立地する企業の工場用地を拡充するため、都市計画法や工場立地法などの制度による土地利用緩和策を活用した積極的な取り組みを進め、工場用地の確保を目指します。

■加西市の都市計画区域の状況



※兵庫県内で「都市計画区域」が指定されている自治体のうち、加西市は都市計画区域に占める「市街化区域」の割合が最も小さく、「市街化調整区域」の割合が最も多い。

台風や大雨による土砂災害に備えましょう

問合せ／危機管理課 ☎42-8751 FAX43-1800
bosai@city.kasai.lg.jp

台風や大雨は、浸水被害だけでなく「がけ崩れ」、「土石流」、「地すべり」などの土砂災害の危険性が高まります。危険箇所は、各家庭にお配りしている加西市防災マップに示しています。また、市ホームページや県ホームページ（CGハザードマップ）でも確認できます。危険箇所の確認とともに、被害を最小限に抑えるため、一人ひとりが雨量や雨の降り方などの気象情報に注意してください。



大きな被害が予想される場合は、市から避難情報を発令（かさい防災ネット、テレビ、ラジオ、広報車等）します。日頃から、避難方法や避難場所について家族で話し合い、いざというときは早めに避難するようにしましょう。避難場所については、小中学校、公民館、最寄りの施設などを防災マップで確認してください。

市が発令する避難情報

種類	発令の意図	避難行動
避難準備・高齢者等避難開始	雨量や河川水位の上昇により災害発生の危険性があり、避難の準備を求め。また、高齢者や身体の不自由な方など、避難に時間を要する方には避難の開始を求め。	対象地域に居住の方は、家族等との連絡、非常持出品の用意など避難の準備を行い、周囲の状況により自主避難する。また、高齢者や身体の不自由な方は避難を開始する。
避難勧告	災害発生の危険性が高まり、対象地域の方に避難行動の開始を求め。	対象地域に居住の方は、近所の人にも声をかけて、避難を開始する。また、対象地域以外の方も周りの状況により自主避難する。
避難指示（緊急）	災害発生の危険性がさらに高まり、市民に避難の完了を求め。	避難勧告等の発令後で避難中の方は、直ちに避難を完了する。まだ避難していない方は、すぐに避難行動を開始するか、時間がない場合は、自宅または近くの高い所への避難等、安全な場所へ移動する。

台風などによる自然災害に備えて

問合せ／危機管理課 ☎42-8751
(公財) 県住宅再建共済基金 ☎078-362-9400

自然災害（地震、台風、暴風、豪雨、洪水、豪雪など）発生時に被害を受けた住宅等の再建・補修を支援する「フェニックス共済」に加入してください。

	県住宅再建共済制度	家財再建共済制度
共済負担金	年額 5,000 円／戸 ※加入初年度は月額 500 円（上限 5,000 円）	年額 1,500 円／戸 ※加入初年度は月額 150 円（上限 1,500 円）
共済給付金	住宅が半壊以上の被害を受けた場合 建築・購入／600 万円 補修／全壊 200 万円、大規模半壊 100 万円、半壊 50 万円 半壊以上で建築・購入・補修をしない場合／10 万円 ※プラス年額 500 円で一部損壊特約（建築・購入・補修／25 万円給付 建築・購入・補修をしない場合／10 万円給付）	住宅が半壊以上または床上浸水の被害を受けた場合 家財を補修・購入／全壊 50 万円、大規模半壊 35 万円、半壊 25 万円、床上浸水 15 万円
申込方法	所定の申込書に必要事項を記入し、(公財) 兵庫県住宅再建共済基金へ申し込みください。 (申込書は市危機管理課、加西郵便局、北播磨県民局にあります)	

フェニックス共済の給付金が支給された住宅に、加西市災害支援金を上乗せで支給

全壊／50 万円 大規模半壊、半壊／25 万円 一部損壊／15 万円 床上浸水／5 万円

ひょうご防災リーダー講座の受講者募集

日程／10月7日（土）から平成30年3月までの土曜日で全12回

場所／兵庫県広域防災センター（三木市）

対象／自主防災組織のリーダーなど地域防災の担い手を目指す方で、県内在住、在勤、在学の方

受講料／無料（教材等実費負担あり）

申込／市危機管理課にある申込書を郵送。県広域防災センターのホームページからも申し込みできます。

申込締切／9月28日（木）必着

申込先／〒673-0516 三木市志染町御坂1-19 兵庫県広域防災センター 防災教育担当 ☎0794-87-2920